

ベジマチ

マッチングサイト開設

生産者との商談可能に

農畜産業振興機構

農畜産業振興機構

（a-lic）は、野菜生産者と実需者がオンライン上で交流・商談できるマッチングサイト「ベジマチ」

入を希望する野菜の条件などを発信でき、チャットで個別商談を行うことができる。

a-licでは2006

（<https://www.vegmatch.jp/>）を開設

した。生産者は取扱う野菜の情報を、実需者は購

年度から生産者と実需者をつなぐ商談を行ってきたが、昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で

中止を余儀なくされた。

ベジマチの開設は、「コロナ下で頑張っている生産者を応援するため」という。

機能は、①「マイページ」による情報発信②「掲示板」を使用した随時の情報発信③「メッセージ（チャット）」機能を使っ

た個別商談④「検索機能」を使った購入希望野菜や希望時期などの検索からなる。

マイページでは、生産者は栽培品目や商品画像、提供可能時期、納品

単位、規格、アピールポイントなどを発信できる。実需者は企業情報や購入希望数量、規格、納入時期などを発信できる。

掲示板にはタイムリーな情報を掲載。生産者は作柄、出荷情報、サンプル提供などについて、実需者は購入希望商品情報などを知らせることができ

る。

メッセージ機能は生産者と実需者が直接やりとりできるもので、商談、現場訪問の打合わせ、商品の品質の問合せ、サンプル提供の依頼などを想定する。検索機能では、「野菜」「産地・会社所在地」「購入希望時期」「キーワード」などから検索

することが可能だ。

利用するには会員登録が必要。対象は国内の野菜生産者、生産者団体、集出荷業者、実需者は卸売・仲卸業者、外食・中食業者、製造業者、小売業者などで、サイト上で登録できる。登録・サイト利用は無料。

a-licでは利用拡大に向け、来月10、11日に東京国際フォーラムで開催予定の「国産農畜産物商談会」（主催＝JA全農、JAバンク）でデモンストラーションの実施を計画。さらに、生産者向けにマイページの作成方法、メッセージ機能、掲示板を使用した商談・情報発信方法などを紹介する研修会を行う計画。

実需者は品目・産地などから検索できる

